

受付番号	2022-51		
許可番号	大歯医倫 第 111257-0 号		
研究課題名	静脈内鎮静法下歯科治療における局所麻酔針刺入時の疼痛が鎮静深度・効果に及ぼす影響		
研究責任者	百田 義弘	申請者	百田 義弘
研究終了日	2023 年 9 月 30 日		
所属	歯科麻酔学講座	所属	歯科麻酔学講座
職名	主任教授	職名	主任教授

申請の概要

歯科治療恐怖症患者に対し、静脈内鎮静法下で歯科治療を行うことにより快適で円滑に治療を行うことが可能となる。しかし歯科治療では、局所麻酔を必要とすることが多く、局所麻酔針刺入時の疼痛刺激により、一時的に静脈内鎮静深度が低下する。鎮静深度の低下は、恐怖の再燃や、体動などを惹起し、快適で円滑な治療の妨げとなる。さらに局所麻酔はほとんどの場合、治療開始前に行うため、局所麻酔終了後に、治療が可能となる鎮静深度を得るためには、鎮静薬の増量も考慮しなければならない。鎮静薬の増量は、呼吸器系、循環器系合併症の増加に繋がる。本研究では、静脈内鎮静法を必要とする歯科治療恐怖症患者を対象として、静脈内鎮静時の局所麻酔針刺入時の疼痛が、静脈内鎮静深度・効果に及ぼす影響について、局所麻酔刺入前の表面麻酔薬を使用した群、使用しなかった群で血圧、脈拍、脳波モニター値および自覚所見などを比較検討することにより、調査していく。これにより、静脈内鎮静時における刺入時の疼痛に起因する有害事象を明確にでき、歯科治療恐怖症患者に対し、より安全で快適な静脈内鎮静法下での歯科治療を提供することが可能となるものと期待される。